

報道関係者各位

ご案内

不妊の悩みをかかえる「男性」のためのグループサポート
「男性が不妊を語る会」第2回を開催！

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン)

<http://j-fine.jp/>

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine (ファイン)」では、来る 10 月 19 日(日)、「男性が不妊を語る会」の第 2 回目を開催します。グループのファシリテーターを務めるのは前回に引き続き、不妊カウンセリング界の第一人者である平山史朗先生。参加者を不妊カップルの「男性のみ」に限定し、男性同士で心置きなく、抱えている問題を語り合っていただく会です。

どんなに親しい間柄であっても、なかなか周囲に打ち明けづらい「不妊の悩み」。それを抱える当事者の、精神的サポートをする「人」や「場」は、近年では着実に増えつつあります。しかし、その大半が女性を対象としたものであったり、女性しか参加していなかったりと、不妊カップルの「男性たち」が安心して悩みを話せる「場」は非常に少ないのが現状です。

NPO 法人 Fine (及び Fine カウンセリング協会) では、2006 年より、Fine Bloom、カップル・ブルーム、おしゃべり会、という形で、主に女性を対象とした「グループによるわかち合い」を提案・実施してきましたが、前述の社会的背景を踏まえ、不妊カップルの「男性のみ」を対象とした会を 2008 年 6 月に初めて実施。その結果と反響を鑑みこの会の継続の意義を実感し、このたび第 2 回目を開催いたします。

一人でも多くの「不妊に悩む男性」が、この会の存在を知り、参加して気持ちを軽くすることができるよう、ぜひ貴媒体のお力をお貸しいただければ幸いです。

「男性が不妊を語る会」の概要

内容：臨床心理士（男性）司会による不妊を抱える男性当事者の語り合い

グループの司会：臨床心理士 平山史朗先生（東京 HART クリック 生殖心理カウンセラー）

期日：2008 年 10 月 19 日（日） 14：00-15：30

対象：不妊の悩みを抱える男性当事者（男性不妊の方だけが対象ではありません）

会場：江東区内会議室

10 人以内のグループ・シェアリング形式。

参加費用：Fine 正会員とそのご家族（夫）¥1,500

上記以外の方 ¥2,000

NPO 法人 Fine ~ 現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会 ~

申込方法：メールによる事前予約制 pia-menset@j-fine.jp （受付締め切り：10月16日）

<申し込み時必要事項> （以下の事項をメールに記載）

- 1) 名前
 - 2) メールアドレス
 - 3) 会員種別：正会員、エール会員、非会員（奥様またはご本人の種別）
会員の 경우에는 会員番号をお知らせください。
 - 4) 当日話したいこと、会に希望すること（あれば）
- 参考ウェブサイト：<http://j-fine.jp/counseling/co-dansei.html>

「男性が不妊を語る会」について ご参考（前回のプレスリリースより）

語り合うことの重要性

女性たちの語り合いの場は、Fineの活動にもあるように、各地でさまざまな形で徐々に普及してきています。しかし、男性のみの参加者のための語り合いの場は、これまであまり開催されていませんでした。不妊の状況、悩みは、カップルそれぞれで違ってきます。また、男性には男性独特の悩みもあるようです。Fine カウンセリング協会では、このデリケートな問題を語るための場は、男性にとっても必要ではないかと考え、この「男性が不妊を語る会」を企画しました。

本企画では、会の参加（構成）メンバーは男性のみです。司会は、不妊の心理について詳しい臨床心理士の平山史朗先生です。

「男性が不妊を語る会」に寄せて

平山史朗（東京 HART クリニック カウンセラー）

「不妊は夫婦の問題です。夫の理解が大切ですから、夫婦で協力して治療をがんばりましょう」とはよく言われます。でも、世の不妊に関する情報は、もっぱら女性に向けてのものばかりです。また、体験談や掲示板など、不妊体験者同士のコミュニケーションも、女性のためのものがほとんどです。男性とはといえば、「妻の大変さを理解しましょう」とか、「妻を支えるために」とか、あくまで主体は女性で、男性自身のための情報やコミュニケーションの場はとても少ないのが現状です。男性の気持ちを無理やり一言で表わすならば、「どうすればいいんだ？」という気持ちかもしれません。

もちろん、不妊症治療の多くは女性主体であり、それがとても大変なのは男性もわかっています。でも、「男だってつらいよ」 - これが今回私たちがこの集いを企画した意図です。

そうです、男性にとっても、不妊という体験はとても大変なはずで、不妊を経験している期間や治療段階、不妊原因などによってつらさを感じる内容や程度は人によって違うと思いますが、それでも、「男性にとっての不妊のつらさ」は確かに存在します。どうやって治療に協力すればいいのかわからなくてつらい、医師に指示された日に夫婦生活を持つのがつらい、妻のつらそうな姿を見るのがつらい、自分が男性不妊と診断されてつらい、そしてもちろん、子どもを望んでいるのに授からないのがつらい...この男性ならではのつらさを、自分と同じような悩みを抱えている男性同士で話し、分かち合うことができれば、抱えている大変さを少しだけでも荷下ろしできるのではないのでしょうか。

今回用意したのは、不妊という状況を体験している男性だけの集まりです。自分自身のことを語ることができ、また、他の人の話を聴くことができるでしょう。皆さんの参加をお待ちしています。

これからのFineの活動予定(2008年9月25日現在)

11月2日(日)大イベント「Fine祭り2008 ひとりじゃないよ! 不妊」開催!
近日中にプレスリリース発行予定

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/matsuri/matsuri.html>

NPO法人Fine これまでの活動実績(抜粋)

日本初! 不妊ピア・カウンセラー養成講座の運営

日本で初めて、不妊に特化したピア・カウンセラーを養成、1年間の厳しいカリキュラムを経て認定試験に合格したFine認定ピア・カウンセラーたちは、全国で活躍中です。現在第四期を開講中。

日本初! 不妊当事者団体として、不妊治療の保険適用を求めて国会請願を実施!

不妊当事者団体として初めて、2007年10~11月に、不妊治療に関する薬と検査の保険適用を求めて国会請願を実施! 集まった署名は約15,000。34名の国会議員にご協力いただきました。

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

不妊に関するさまざまな調査を実施

詳細はFineのウェブサイト「活動」「アンケート」をご覧ください。

各種要望書の提出

これまでに、厚生労働省に新薬認可の要望書、保険適用の効能追加の要望書、自己注射の要望書を提出。すべての要望書が承認されました!

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/top/ziko/yobo-ziko.html>

カウンセリング事業

専門家によるカウンセリングの実施、ピア・カウンセラーによる電話相談、面接カウンセリング

会報誌「えでいっと」・メールマガジン「Are you Fine?」の発行

学会・研究会への参加・発表

iCSi(国際不妊患者団体連合)に参加(2004年6月ベルリン、2005年コペンハーゲン)

看護協会研修センターにて講演(2004年9月、2005年9月、2006年8月・10月)

不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター養成講座にて講演(2004年10月、2005年10月)

iCSi2008(2008年2月ブダペスト)では日本代表として発表 ほか

媒体関係(取材や協力)

朝日新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞・東京新聞・北海道新聞・京都新聞 他

NHK「クローズアップ現代」・日本テレビ系ニュース番組「今日の出来事」・日本テレビG+「医療ルネッサンス」・NHK「@ヒューマン」 他 週刊朝日・赤ちゃんが欲しい・AERA 他

その他

講演会の開催(2004年10月、2006年11月)

JISART施設の認定審査に患者代表審査委員として参加(2005年、2006年、2007年、2008年)

Fine会員は約700名(2008年8月現在)さらにSNSも開設!登録者約600名(2008年8月現在)

NPO法人Fine(ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽1-32-4 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

*常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです。

E-mail 「男性が不妊を語る会」についてのお問い合わせ: pia-menset@j-fine.jp

その他のお問い合わせ: NPO法人Fine 広報窓口: finekouhou@j-fine.jp